

平成28年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立池田高等学校

学校番号 20

I 自己評価

1 学校教育目標	校訓「向学・友愛・錬磨」の下、明るく規律ある学校生活を通して、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな、心身ともに健全な人間形成を期すとともに、持続可能な社会の発展に貢献できる人間の育成に努める。		
2 評価する領域・分野	◇学校経営		
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	池田高校は、揖斐郡を中心に約9割の生徒が通学1時間以内、10km圏内から通うまさに地域の高校である。生徒は穏和な生徒が多く、保護者も学校の教育活動に協力的である。池田町や地域の学校や教育機関との連携を深め、地域創生の核となる高等学校づくりに努めている。 生徒・保護者対象のアンケート（9月実施）では、本校の教育活動に概ね満足しており、特に社会規範を身に付けるための指導や成長の糧となる学校行事やボランティア活動に対する評価が高い。生徒一人一人に対する指導の充実が求められている。		
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇E S D（持続可能な開発のための教育）の推進。		
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	• 企画委員会、三部長と学年主任の会議、各種委員会及び職員会議		
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
<p>(1) 学びの挑戦 （授業改善、少人数指導、進路希望に合わせた多様な科目選択、キャリア教育等）</p> <p>(2) 部活動・学校行事・ボランティア活動の挑戦</p> <p>(3) ユネスコスクール(ESD)への挑戦 「Global Welfare（地域・国際社会の中でよりよく生きる）」をキーワードに、「福祉」、「国際」、「環境」を3つの柱としてE S D（持続可能な開発のための教育）を推進</p>	<p>(1) 生徒・保護者等を対象とするアンケート結果、進学や就職等の進路状況</p> <p>(2) 生徒対象の生活アンケート（迷惑調査）結果、部活動の成績や学校行事での生徒の活動状況、地域行事への参加状況</p> <p>(3) 学校評議員会、学校関係者評価委員会による評価、地域からの評価、教育研究論文等への評価</p>		
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価	
<p>(1) 学びの挑戦</p> <ul style="list-style-type: none"> 英数国における少人数指導、生徒の興味関心や進路希望に応じた多様な選択科目の設定。 習熟度の高い生徒への放課後補習や土曜補習、成績不振者への補充指導等、生徒の実態に応じた学習支援。 職業別ガイダンス、学部・学科別ガイダンス、学校別ガイダンス、インターンシップ等のキャリア教育の充実。 <p>(2) 部活動・学校行事・ボランティア活動の挑戦</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒会の主体的な活動や、球技大会、文化祭、体育大会、版画大会等の学校行事の活性化。 外部講師による指導の充実、グラウンド夜間照明設置、備品の整備等部活動活性化のための環境整備。 <p>(3) ユネスコスクール(ESD)への挑戦</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のユネスコスクールや大垣ユネスコ協会との連携推進 池田町及び池田町教育委員会、保育園、小中学校、特別支援学校、福祉系専門学校や福祉施設と連携した福祉教育、国際教育、環境教育の推進。 	<p>① 一人一人の生徒の個に応じた指導と進路実現ができたか</p> <p>② 所属意識を高め、生徒の主体的活動の実現ができたか。</p> <p>③ 地域と連携しながら池田高校の方向性を明確にし、行動することができたか。</p>	<p>A <input checked="" type="checkbox"/> B C D</p> <p>A <input checked="" type="checkbox"/> B C D</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> A B C D</p>	

<ul style="list-style-type: none"> 生徒会、家庭クラブ、ボランティア会、MSリーダーズ、科学部等の生徒の活躍によるESDの推進。 		
11 成 果 ・ 課 題	<p>(成果)</p> <p>○ユネスコスクール2年目となりESDの視点で教育活動を進め、地域の福祉系専門学校との連携による専門科目「社会福祉基礎」の理解と深化や、ボランティア活動の充実、池田町が主催するニュージーランド海外研修、地域の保存会と共同でハリヨの保護活動を行なう等、地域と連携しながら、ユネスコスクールとして、具体的な教育活動を展開することができた。</p> <p>○ホームページや学校案内を一新し、生徒や保護者への一斉メール配信の活用を積極的に進めたので、本校の教育活動への理解が深まったという評価をいただくことができた。</p> <p>(課題)</p> <p>▲3年間を見通したESDの教育計画（ESDカレンダー）を今年度内に作成し、来年度から教育活動全体を通したESD活動を推進したい。</p> <p>▲池田町の「地方創生プロジェクト」と連携し、地域の持続可能な発展の核となる学校づくりを進めたい。</p>	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> A B C D
12 来年度に向けての改善方策案 岐阜県の公立高校初のユネスコスクールとしての活動が2年目を迎え、福祉教育、国際教育、環境教育を柱として教育活動が充実し活動範囲も広がり、池田町との協働や地域の各学校との連携など、持続可能な地域社会の創生のための核となる高等学校として着実な歩みがあった1年であった。また、教育活動の見直しと改善を積極的に進め、卒業後の進路や部活動、生活指導で大きな成果を収めた1年でもあった。 来年度は、教育課程にESD活動を位置づけたESDカレンダーに基づき、系統的、計画的に教育活動を進めていきたい。具体的には、生徒が意見交換しながら自ら課題を見つけ解決していくアクティブ・ラーニングの手法を取り入れた授業改善を進めたい。また、池田町と協働してキャリア教育を進め、卒業後は地域の様々なところでリーダーとして地域を支える社会人として期待される人材を育成する学校づくりを進めたい。		

II 学校関係者評価

実施年月日：平成29年2月16日

【意見・要望・評価等】

- 福祉、環境等積極的な活動がなされ、素晴らしい成果をあげている。
- 校長先生の学校経営に対する熱い思いが、担当教諭にしっかり伝わっており、目標の達成に向けて、熱心に取り組まれていることがよくわかる。池田高校の素晴らしい点でもある「地域密着型」が、学校運営に活かされていることは、池田町民として大変嬉しく思うとともに、心から応援したいと思う。
- 池田の地から、眼を「世界」と「未来」に転じ、広い視野から今後の教育の目標と課題を捉えていることを評価したい。一方、その視野に立ちながら同時に地域に目を向け、今後地域で活躍できる人材養成に挑戦している。
- 目標の具体的な取り組みである(1)学びの挑戦 (2)部活動、学校行事、ボランティア活動 (3)ユネスコスクールへの挑戦が3つともしっかり関係していてさらに地域とも連携し、地域の発展の核となる学校づくりは卒業後も続いていく素晴らしい学校経営だと思う。